

## M4 階作業について

2011.6.6

M4 階資料については、棚ゆがみの修正・棚の耐震補強工事のため、全ての資料を一時棚から移動している。

### 1. 工期 6/2～6/25

M4 階 (①～⑦ 7ブロック・1ブロック3日間) \*21日間

M4 階 西側部分 (①～③) … 一番端の書架に筋交いを入れる

M4 階 東側部分 (④～⑦) … すべての書架に筋交いを入れる

### 2. M4 階資料の一時保管場所 \*詳細はマップ参照

3 F … 洋雑誌、和雑誌 (C-1～C-19)、新聞縮刷版

M3F … 紀要・論集

4 F … 和雑誌 (C-20～C-59)、未整理資料～4-2 空き書架、

学院コーナー、仙台・宮城県資料～東側 4-0,4-1 の空き書架と東側閲覧机の上

M4F 踊り場 … 新聞縮刷版 (A-7 のみ)

M4F 東端 … 追録、NBER working paper (B-4 資料一部)

### 3. M4 階書架への資料戻し \*ブックトラックで戻し作業

洋雑誌、新聞縮刷版 … 6/13～

紀要・論集 … 6/22～

和雑誌 … 6/24～

- \* 資料の一時保管場所には、床に棚番号を記しているのを確認する
- \* 資料は床に貼っている棚番号の奥から順に並んでいる
- \* 空き棚に資料が入っているヶ所もあるので現場の張り紙を確認する
- \* 資料を戻す際の目印とするため、各棚、列ごとに A～K の印をつけ、列の始めに札をつけている。④～⑦ブロック (和雑誌 C-5～、紀要・論文等) に関しては、段の始めにもスリップを入れている。ex.)C-5/A/1 (C-5 棚 A 列 1 段目)
- \* 落下していない資料について書架の状況チェックを記入した棚表があるので、資料の位置がわからなくなった場合参考にする (M4 階カウンターに保管)
- \* 今まで D-25、26 にあった追録コーナーは、B-1 棚へ移動する (今後、紀要論集コーナーを広げる事を考え、D-25、26 は空き棚とする)

#### 4. 巻号チェック、並べ替え

洋雑誌、新聞縮刷版等（①～③ブロック）

- ・・・運び出しの際、巻号順の並べ替えを行っていないため、棚へ資料を戻した後、巻号チェックおよび並べ替え作業を行う

和雑誌、紀要・論集（④～⑦ブロック）、学院コーナー、宮城県・仙台市コーナー

- ・・・運び出しの際一度巻号順の並べ替え作業を行っている  
資料を棚へ戻した後、再度巻号チェックを行う